



NO. 938
 発行
 2018年
 3月5日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 加藤 秀夫
 編集責任者
 教 宣 部

組織拡大は喫緊の課題だ

第124回拡大地方委員会
 の開催・2月24日

第124回拡大地方委員会が2月24日、13時より地本会議室で開催されました。

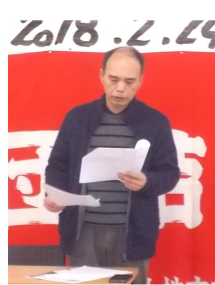
春闘・職場の問題点・組織拡大など地方委員11名全員から発言がありました。

藤井副委員長の開会あいさつでスタート、13時現在、地方委員11名全員の出席を確認し委員会が成立したことが宣言されました。

そして職協代表の全員の出席や執行委員は会計監査委員以外の出席を確認しました。

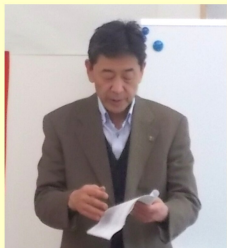


議長に 長谷川正志氏を選出



議長に中越地域分会の長谷川正志委員を選出しました。

書記長 集約



各現場は要員不足になっている。厳しい職場環境だ。

444Mの雪による事故・羽生田～直江津間も雪の影響で列車を止めた。雪による影響が大きい。

新潟駅の高架化・4月15日第1期終了。どんなふうになるのか検証していく。

組織拡大・委員からの発言が無かった。JR東労組のスト問題で脱退者が出ている。それを拡大に生かせるか、取り組みを進めていく。新潟地本は喫緊の課題だ。

公共交通を守る闘い・並行在来線など運動が取り組まれてきた。現状はなかなか取り組みが進んでいない。

新潟駅・障がい者にやさしい駅を求めている。

政治闘争の強化・9条改悪阻止、3000万人署名の取り組みを進めていく。ひとり5名の目標をめざしていく。労働法制改悪阻止の取り組みも進めていく。委員全員の発言があった。

アスベスト・守橋さん、先々月運輸機構から話があった。3月7日アスベスト対策会議を開催する。石綿の健康診断は続けていくこと。



その後、加藤委員長のあいさつで「活発な議論をよろしくお願ひしたい。新潟地本の最重要課題である組織拡大について議論を深め意思統一したい」。そして、国労東日本本部・渡辺



い、駅へは希望していない。これ

執行委員のあいさつがありました。

全体の意見

車掌が駅へ配転

○車掌が新潟駅に配転された。新潟駅高架化による。本人は現場で言われ事前発令となった。不当配転ではないか。駅業務の経験が無



から車掌が余るので配転させられるのではないかと。直江津から長岡へ転勤になった。通勤IIモニター制度、導入できないか。

現場は要員不足だ

○酒田は要員不足だ。保線業務は深刻だ。年齢構成は、若手1〜3年目と50歳代。年代のギャップと技術力のギャップがある。JR本体に残れる体制を作って欲しい。助役は一般エルダーとして扱ってほしいのか。

●今冬は大変な状況だった。雪に弱い、要員不足が関係している。雪に取組みの強化を。パートナーグループなど、業務について助勤対応では無く、本体として対応して欲しい。

○直轄の業務が多くなってきた。除雪・MRや機械の取り扱いについてパートナー会社は、故障対応をどうしていくのか。

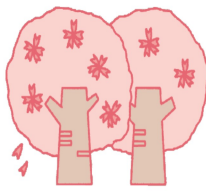


●職場では、作業に対し資格取得者が少なく、作業効率が悪い。資格者が休むと他の現場社員が対応しなければならぬので、仕事の要員が足りなくなる。

○貨物会社は要員が足りない状況で、特休日でも買い上げになっている。

リフト運転手の作業、荷物は端末で確認するようにしている。端末の確認作業など、なれない社員はすぐに辞める。リフト運転手の社員は作業内容が話と違うと言っている。

端末の確認作業がなれないと荷物の積み下ろしで列車が遅れる時もある。職場での人間関係がこの作業で列車が遅れる時もあり厳しい状況になっている。安心して仕事が出来る環境にしていきたい。



●NTSに出向・新潟駅の高架化に伴い駅検が廃止になる。車両の蛍光灯など誰が取り替え作業をするのか。車両を留置する線が、別なところでもかなり離れる。故障時の対応はどうするのか。

NTSで限定免許を養成した。NTSだけでは賃金が安いので生活が出来ない。アルバイトをやっている社員もいる。エルダー出向で信号担当の業務をすることになった社員がいる。信号業務をやったことがない。厳しいのではないか。出向して5年になる。委託内容く

委託会社への指示が今までは書面だったが現在は変わってきている。書面が無い。

○雪の問題・磐越西線で倒木など車両がぶつかって破損した。運転士の命に関わるものが改善されていない。三島問題・公共交通を守る闘いを強化すること。



●今月でJRを退職する。来月も引き続き地本事務所の書記を続ける。

新潟駅の状況、年齢構成は58歳・2年の経験の社員。業務が難しくなっている。駅への配転について若い社員と考える。駅の間層がない。若い社員は2年後は車掌へ職種が変わっていく。営業の業務にも若い社員。そういう状況から駅が委託化される。非常時への対応ができていない。直営に戻す方向で。



全体での質疑討論は、地方委員全員が発言しました。15時過ぎに書記長集約となり最後は加藤委員長長の団結がんばろう！でさらに団結を固めました。



○18春闘について

拡大中央委員会で方針が決定した。JR各社へ2月13日に要求を提出した。貨物は2月15日に第1回目の団交で主旨説明をした。グループ会社の労働条件を求めていく。

18春闘・安倍内閣は3%の賃上げを要求している。連合は4%の要求だ。春闘は労働組合主導の春闘にしていく。アンケート調査から生要求は39073円。

決定された要求の獲得を求めていく。現場長への申し入れ、春闘行動大衆行動を取り組む。安倍政権・9条改悪を許さない3000万人署名の取り組みや労働法制改悪阻止の取り組みを進めていく。ストを背景に闘いを進めて全力で取り組んでいく。

○安全・安定輸送の確立について

電気関係の事故が多発している。要員不足・技術継承について改善されていない。3900人が退職するが新採者は1800人の採用、要員は1900人足りない。

現場の状況は、人材不足、技術継承など問題がある。必要な改善を求めていく。4月1日、エルダー制度など現場での問題点を本社へ申し入れる。

○組織拡大について

地方委員会で議論を深める。自分の職場を変える。他労組組合員の不安、不満など相談にのる。アンテナを高く掲げて一緒に取り組んでいく。

○JR東労組のスト問題について

将来にわたって格差の無いベアを要求した。ストの行使の準備。JR東労組の圧力がある職場がストにはいる。



国労は不当労行為は認めない。東労組の動向について状況を議論していく。1000名を超える脱退がある。他労組組合員の相談にのる。そこから信頼関係を深める。拡大につなげていく。



編集後記

拡大地方委員会が開催され春闘を含めた当面する方針が議論され決定しました。

これから春闘本番です。3月は春闘行動が、中央、地方と行動日が決定されました。多くの組合員の参加をよろしく願います。

3月8日地本の春闘行動を取り組みます。地方本部ではその前段に3000万人署名を新潟駅前で行います。

